

起業アイデア大会

花山さん(多治見市)

賞金300万円

多治見市内で創業、起業するプランを競うビジネスプランコンテスト「TAJICON (たじこん)」の最終審査会が2日、同市東町のセラミックパークMINOで開かれた。賞金300万円のまちなかグランプリには、中心市街地の空きビルをリノベーションし再生する計画を発表した同市大日町のデザイナー花山和也さん(32)の写真右のプランが選ばれた。賞金はプランが実現した後に贈られる。

コンテストは同市、東濃信用金庫、十六銀行多治見支店などが初めて開いた。昨年6、8月に県内外から33件の応募があり、1次審査に合格した7人が市民らの前で発表した。花山さんのプランは、同市新町の空きビルをリノベーションし、陶磁器の販売やギャラリーを備えたビルを運営する「新町ビルプロジェクト」。現在、ビルは解体工事中で今年7月ごろにオープン予定。花山さんは「審査員に自分の思いを伝えたことが評価につながった」と喜んだ。

ほかに、「地元のタイルを使ったボードゲームの販売・普及」や「中心市街地に北欧イオンテリアショップの開店」などのプランが発表された。発表者はスライドを使いながら、審査員に事業の計画や熱意を訴えた。

創業グランプリ(賞金200万円)は大沼博紀さん、埼玉県東松山市、特別賞(同100万円)は磯崎顕三さん、多治見市、奨励賞(同50万円)は船戸正直さん、同市が受賞した。(山本貴史)

